

汚染水対策スケジュール (1/2)

分野名	括り	これまで1ヶ月の動きと今後1ヶ月の予定	8月							9月							10月							11月			12月			備考																								
			25							1							8							15							22							29							上			中			下			
中長期課題 汚染水対策分野	建屋滞留水処理	【1、2号機 滞留水移送装置設置】 【3、4号機 滞留水移送装置設置】 (実績) ・穿孔・地下階干渉物撤去 ・架台・配管・ポンプ設置	【1、2号機】滞留水移送装置設置																												2019年6月13日 実施計画変更申請																							
			【3、4号機】滞留水移送装置設置																												2019年6月13日 実施計画変更申請																							
		【1~4号機滞留水浄化設備】 (実績) ・【1~4号機】建屋滞留水浄化 運用中	【1~4号機】建屋滞留水浄化 運用中																																																			
	浄化設備	【既設多核種除去設備】 (実績) ・処理運転 (A・C系統) ・処理停止 (B系統) (予定) ・循環ポンプ不具合のため処理停止 B系統 (7/2~12月)	A系 処理運転 (処理水の状況に応じて適宜運転または処理停止)																												処理水及びタンクのインサービス状況に応じて適宜運転または処理停止																							
			B系 循環ポンプ不具合のため処理停止																																																			
		C系 共沈タンク交換のため処理停止																												C系 処理運転 (処理水の状況に応じて適宜運転または処理停止)																								
		C系 処理運転 (処理水の状況に応じて適宜運転または処理停止)																																																				
		【高性能多核種除去設備】 (実績・予定) ・処理運転	処理運転 (処理水の状況に応じて適宜運転または処理停止)																												処理水及びタンクのインサービス状況に応じて適宜運転または処理停止																							
		【増設多核種除去設備】 (実績) ・処理運転 (B・C系統) (予定) ・新規吸着材からの発泡事象のため処理停止 A系統 (9/3~10月)	A系 処理運転 (処理水の状況に応じて適宜運転または処理停止)																												※処理水及びタンクのインサービス状況に応じて適宜運転または処理停止 ※9/14に使用前検査 (除去性能確認) を受検、使用前検査終了証を受領した2017年10月16日よりホット試験から本格運転へ移行 (運転状態・除去性能はホット試験中と変わらず) 2017年10月12日付 増設多核種除去設備使用前検査終了証受領 (原規規発第1710127号)																							
	B系 処理運転 (処理水の状況に応じて適宜運転または処理停止)																																																					
C系 処理運転 (処理水の状況に応じて適宜運転または処理停止)																																																						
	【サブドレン浄化設備】 (実績) ・処理運転 (予定) ・処理運転	処理運転																												サブドレン汲み上げ、運用開始 (2015.9.3~) 排水開始 (2015.9.14~)																								
	【第三セシウム吸着装置】 (実績) ・処理運転 (予定) ・処理運転	処理運転																												2017年7月28日 除染装置関連設備撤去の実施計画変更認可 (原規規発第1707283号) 2017年9月28日 第三セシウム吸着装置設置の実施計画変更認可 (原規規発第1709285号) 第三セシウム吸着装置設置コールド試験完了 (H30、7月) 2019年1月28日 第三セシウム吸着装置使用前検査修了証受領 (原規規発第1901286号) 2019年7月12日運用開始																								
	(実績・予定) ・未凍結箇所補助工事は2018年9月に完了 ・維持管理運転2019年2月21日全域展開完了	維持管理運転 (北側、南側の一部 2017/5/22~、海側の一部 2017/11/13~、海側全域・山側の一部 2018/3/14~、山側全域2019/2/21完了)																												2016年3月30日 陸側遮水壁の閉合について実施計画変更認可 (原規規発第1603303号) 2016年12月2日 陸側遮水壁の一部閉合について実施計画変更認可 (原規規発第1612024号) 2017年3月2日 陸側遮水壁の一部閉合について実施計画変更認可 (未凍結箇所4箇所の閉合: 原規規発第1703023号) 2017年8月15日 陸側遮水壁の一部閉合について実施計画変更認可 (未凍結箇所1箇所の閉合: 原規規発第1708151号)																								
	(実績・予定) ・汚染の拡散状況把握	モニタリング																																																				

汚染水対策スケジュール (2/2)

分野名	括り	これまで1ヶ月の動きと今後1ヶ月の予定	8月		9月				10月			11月			12月			備考			
			25	1	8	15	22	29	6	13	20	27	4	11	18	25					
汚染水対策分野	中長期課題	(実績・予定) ・追加設置検討(タンク配置) ・H4フランジタンクリプレース工事(堰構築) ・Bフランジタンクリプレース工事(タンク基礎新設、堰構築) ・H5フランジタンクリプレース工事(タンク基礎新設、堰構築) ・H6フランジタンクリプレース工事(地盤改良、タンク基礎新設、堰構築) ・H3フランジタンクリプレース工事(-タンク設置作業待ち) ・H5エリアタンク設置 ・Bエリアタンク設置 ・H6(Ⅱ)エリアタンク設置 ・G6フランジタンクリプレース工事 ・G6エリアタンク設置 ・G4南フランジタンクリプレース工事(タンク解体) ・Eフランジタンクリプレース工事(タンク解体準備) ・G1横置きタンクリプレース工事(タンク基礎新設) ・G1エリアタンク設置	設計検討	[スケジュール表示]																	
			現場作業	H4フランジタンクリプレース工事(堰構築)																	2015年12月14日 H4エリアにおける中低濃度タンクの撤去等について 実施計画変更認可(原規規発第1512148号)
			現場作業	Bフランジタンクリプレース工事(タンク基礎構築、堰構築)																	2016年12月8日 Bエリアにおける中低濃度タンクの撤去等について 実施計画変更認可(原規規発第1812083号)
			現場作業	H5フランジタンクリプレース工事(タンク基礎構築、堰構築)																	2016年12月8日 H5エリアにおける中低濃度タンクの撤去等について 実施計画変更認可(原規規発第1812083号)
			現場作業	H6フランジタンクリプレース工事(基礎構築、堰構築)																	2018年2月14日 H5北エリアにおける中低濃度タンクの撤去等について 実施計画変更認可(原規規発第18021415号)
			現場作業	H3フランジタンクリプレース工事(堰構築)																	2016年12月8日 H6エリアにおける中低濃度タンクの撤去等について 実施計画変更認可(原規規発第1812083号)
			現場作業	H5エリアタンク設置																	2018年2月14日 H6北エリアにおける中低濃度タンクの撤去等について 実施計画変更認可(原規規発第18021415号)
			現場作業	Bエリアタンク設置																	2016年12月8日 H3エリアにおける中低濃度タンクの撤去等について 実施計画変更認可(原規規発第1812083号)
			現場作業	H6(Ⅱ)エリアタンク設置																	2018年5月31日 H5エリアタンク設置について実施計画認可(原規規発第1805317号) H5エリア 1,200m3(32基) H5使用前検査終了(32/32基)
			現場作業	G6フランジタンクリプレース(タンク基礎・堰構築)																	2018年6月28日 B・B南エリアタンク設置について実施計画認可(原規規発第1806281号) Bエリア1330m3(10基) 700m3(27基)、B南1330m3(7基) Bエリア使用前検査終了1330m3(10/10基)700m3(27/27基)
			現場作業	G6エリアタンク設置																	2018年8月23日 H3、H6(Ⅱ)エリアタンク設置について実施計画認可(原規規発第1808234号) H6(Ⅱ) 1,356m3(24基) H6(Ⅱ)使用前検査終了(19/24基)
			現場作業	G4南フランジタンクリプレース工事(タンク解体)																	2017年10月30日 実施計画変更認可
			現場作業	Eフランジタンクリプレース工事(タンク解体準備)																	2019年2月25日 G6エリアタンク設置について実施計画認可 G6エリア 1330m3(38基) G6使用前検査終了(38/38基)
			現場作業	G1横置きタンクリプレース工事(地盤改良、タンク基礎新設)																	2018年7月5日 G4南エリアにおける中低濃度タンクの撤去等について 実施計画変更認可(原規規発第1807053号)
			現場作業	G1エリアタンク設置																	2018年9月10日 Eエリアにおける中低濃度タンクの撤去等について 実施計画変更認可(原規規発第1809102号)
			現場作業	3号機タービン建屋屋根対策 ヤード整備工事																	2017年10月17日 G1エリアにおける高濃度タンクおよび中低濃度タンク撤去等について 実施計画変更認可(原規規発第1710171号)
			現場作業	3号機T/B屋根 ヤード整備開始																	2019年8月2日 G1、G4南エリアタンク設置について実施計画認可(原規規発第1908024号) G1エリア 1356m3(66基) G1使用前検査終了(0/66基)
			現場作業	4号機海側ヤードエリア(路盤舗装等) 1~4号機周辺フェーシング																	4号機海側:2017年10月完了 3号機海側:~2018年7月12日完了 1、2号機海側ヤード:2018年8月~2019年1月 その他海側エリア:2019年3月~2020年3月
現場作業	3号機T/B屋根対策 ヤード整備																	3号T/B屋根対策ヤード整備:2018年11月~2019年7月			

福島第一原子力発電所の滞留水の水位について
(2019年10月3日～2019年10月10日)

2019年10月11日
東京電力ホールディングス株式会社

	原子炉建屋水位					タービン建屋水位				廃棄物処理建屋水位				集中廃棄物処理施設水位		
	1号機	2号機	3号機		4号機	1号機	2号機	3号機	4号機	1号機	2号機	3号機	4号機	プロセス 主建屋	高温焼却炉 建屋	サイトバンカ 建屋
			ホップエリア	南東エリア												
10月4日	-1260	-837	-1126	-467	-1551	—	-1203	-1248	-1217	—	-1306	-1311	-1313	1445	72	—
10月5日	-1250	-823	-1039	-464	-1550	—	-1215	-1257	-1217	—	-1304	-1311	-1313	1435	72	—
10月6日	-1246	-837	-1167	-467	-1550	—	-1225	-1228	-1217	—	-1301	-1311	-1312	1381	72	—
10月7日	-1252	-853	-1051	-465	-1551	—	-1216	-1237	-1217	—	-1291	-1297	-1310	1298	73	—
10月8日	-1236	-850	-962	-460	-1551	—	-1192	-1244	-1216	—	-1284	-1294	-1310	1222	74	—
10月9日	-1253	-834	-1095	-462	-1550	—	-1202	-1255	-1214	—	-1265	-1284	-1307	1243	73	—
10月10日	-1257	-843	-1296	-467	-1551	—	-1231	-1223	-1214	—	-1256	-1282	-1307	1210	150	—

備考欄

- ※ T.P.表記(単位:mm)
- ※ 5時時点の水位
- ※ 1号機タービン建屋の滞留水除去完了(2017年3月)
- ※ 1号機廃棄物処理建屋は水位計の測定下限値以下まで水位低下(2018年7月)
- ※ サイトバンカ建屋水位は、流入量調査のため一時的に水位計の測定下限値以下まで水位低下(2019年4月16日～)
- ※ 3号機原子炉建屋水位は、南東三角コーナー水位が停滞している事から水位変動を監視するため一時的に記載(2019年7月5日～)

福島第一原子力発電所における固体廃棄物について

実施計画記載箇所	大分類	小分類	保管場所	保管形態	保管量 ^{*1, 12, 13}	保管容量 ^{*1, 12, 13}	管理方法		主要核種			
							実施内容 ^{*10}	頻度				
第三章 第1編 39条 第2編 87条の2	瓦礫類	<ul style="list-style-type: none"> 地震、津波、水素爆発により飛散した瓦礫 フォールアウトにより汚染した設備・資機材で廃棄する物（建屋、制御盤、廃車両等） 設備の点検・工事により発生する交換品等（ポンプ、バルブ、配管、フランジタンク等） 設備運転に伴い発生する消耗品等（空調フィルタ等） 工事等のため構内に持ち込んだ消耗品（梱包材、型枠、セメント用空袋等） 回収した土壌 	屋外	・屋外集積【～0.1mSv/h】	200,200 m ³ [+600 m ³]	252,700 m ³ (298,350 m ³)	<ul style="list-style-type: none"> 人が容易に立ち入れないよう区画 巡視を行い、容器の転倒、落下や養生シートに破れがないこと、その他異常が無いことを確認 	週1回	Cs-137 Cs-134 等 ^{*8}			
				・シート養生【～1mSv/h】	38,700 m ³ [+100 m ³]	71,000 m ³ (79,400 m ³)						
				・覆土式一時保管施設、容器収納【1mSv/h～30mSv/h】	18,100 m ³ [微減 m ³]	31,700 m ³ (38,550 m ³)						
			仮設保管設備	・屋内集積【1mSv/h～30mSv/h】			<ul style="list-style-type: none"> 空間線量率を測定し表示 空気中の放射性物質濃度を測定 	週1回 [*]				
				・容器収納【30mSv/h～】	17,500 m ³ [+200 m ³]	45,600 m ³ (23,400 m ³)						
			瓦礫類の合計					274,500 m ³ [+900 m ³]		400,900 m ³ (439,700 m ³)	・槽内の溜まり水の有無を確認（覆土式一時保管施設）	週1回
	使用済保護衣等	<ul style="list-style-type: none"> タイベック 下着類 ゴム手袋 その他保護衣、保護具 	屋外	・容器収納	56,500 m ³ [-600 m ³]	68,300 m ³ (74,500 m ³)	・煙、水蒸気、濁り水（黒・茶色）・空気の揺らぎが発生していないこと（屋外集積の伐採木）	週1回 ^{*3}				
			建屋	・袋詰め								
	伐採木	<ul style="list-style-type: none"> 枝葉根 幹根 	屋外	・伐採木一時保管槽	37,300 m ³ [0 m ³]	41,600 m ³	<ul style="list-style-type: none"> 伐採木一時保管槽における温度監視 	週1回 ^{*3}				
				・屋外集積	100 [0 m ³]	6,000 m ³						
			伐採木の合計					134,100 m ³ [0 m ³]		175,600 m ³ (175,600 m ³)	・保管量を確認し、保管容量が確保されていることを確認	月1回
第三章 第1編 40条	水処理二次廃棄物（水処理により放射性物質を濃縮した廃棄物）	凝集沈殿物	廃スラッジ貯蔵施設	・造粒固化体貯槽【除染装置】	597 m ³ [0 m ³]	700 m ³	・免震重要棟にて液位を監視し、漏えいの有無を監視	常時				
			使用済セシウム吸着塔一時保管施設	・HIC【多核種除去設備、増設多核種除去設備】（最大約13mSv/h）	3,200 本 [+22 本]	4,192 本 [0 本]	<ul style="list-style-type: none"> 人が容易に立ち入れないよう区画 空間線量率を測定し表示 	—				
				・HIC【多核種除去設備、増設多核種除去設備】（最大約23mSv/h）			<ul style="list-style-type: none"> 巡視を行い、コンクリート製ボックスカルバート等に異常が無いことを確認 	日1回				
		・吸着塔【第二セシウム吸着装置、高性能多核種除去設備、RO濃縮水処理設備】（最大約1.2mSv/h）		328 本 [0 本]	584 本 [0 本]	<ul style="list-style-type: none"> 貯蔵量を確認し、貯蔵可能容量が確保されていることを確認 	週1回					
		・処理カラム【多核種除去設備】（最大約0.2mSv/h）										
		フィルタ	・吸着塔【セシウム吸着装置、モバイル式処理装置、モバイル型Sr除去装置、第二モバイル型Sr除去装置、サブドレン他浄化装置、高性能多核種除去設備検証試験装置】（最大約250mSv/h）	965 本 [0 本]	1,596 本 [0 本]	瓦礫類に含む	瓦礫類と同様					
			・容器収納【モバイル型Sr除去装置】（最大約0.5mSv/h）									
			・容器収納【高性能多核種除去設備、RO濃縮水処理設備】（最大約0.5mSv/h）									
		RO装置のフィルタ類	建屋※4	・容器収納【サブドレン他浄化設備】			<ul style="list-style-type: none"> 柵等で区画し、線量・注意喚起表示札を掲示 目視確認可能な範囲で巡視し、転倒等の異常がないことを確認 	— ^{*4}	月1回			
				・容器収納【雨水処理設備等】（1mSv/h未満）								
樹脂	固体廃棄物貯蔵庫	・容器収納【SFP塩分除去装置】（最大十数mSv/h） ・容器収納【雨水処理設備等】（最大2mSv/h）		瓦礫類に含む		瓦礫類と同様	—					

福島第一原子力発電所における固体廃棄物について

実施計画記載箇所	大分類	小分類	保管場所	保管形態	保管量 ^{※1, 12, 13}	保管容量 ^{※1, 12, 13}	管理方法		主要核種
							実施内容 ^{※10}	頻度	
第三章 第1編 38条 第2編 87条	放射性固体廃棄物等	・震災前に発生した放射性固体廃棄物	固体廃棄物貯蔵庫	・ドラム缶収納	ドラム缶 175,661本	ドラム缶 (約252,700本相当)	・巡視による保管状況の確認及び保管量の確認	月1回	Co-60等
				・その他	ドラム缶 10,155本			月1回	
				・震災後に発生した放射性固体廃棄物(焼却灰等)	・ドラム缶収納			1,406本 [+8本]	
		・使用済制御棒等	サイトバンカ	・水中保管	12,125本 193 m ³ ^{※5}	—	・事故前の保管量の推定値を元に保管物の確認	3ヶ月に1回	
							・プール水位の確認	月1回	
		・イオン交換樹脂、造粒固化体	タンク等	・タンク等に貯蔵	3,532 m ³ ^{※6}	—	・貯蔵量の確認 ^{※9}	3ヶ月に1回	
・使用済制御棒等	使用済燃料プール	・水中貯蔵	11,422本 ^{※7}	—	・使用済燃料共用プールの巡視	月1回			
					・使用済燃料共用プールの貯蔵量の確認	3ヶ月に1回			
— ^{※11}	瓦礫等	・金属がら、コンクリートがら等	屋外	・屋外集積、シート養生、容器収納、容器収納の上 シート養生	—	5,600 m ³ [0 m ³]	・人が容易に立ち入れないよう区画 ・空間線量率を測定し表示	—	Cs-134 Cs-137等
			建屋	・屋内集積、容器収納	—	3,800 m ³ [0 m ³]			
		・回収した土壌	屋外	・容器収納、フレコンパックに収納の上 シート養生	—	1,700 m ³ [0 m ³]			
	水処理二次廃棄物	・樹脂、ゼオライト、RO膜等	屋外	・容器収納、容器収納の上 シート養生	—	200 m ³ [0 m ³]			Cs-137 Cs-134 Sr-90等
仮設集積の合計					—	11,300 m ³ [0 m ³]			

※1 瓦礫類、使用済保護衣等、伐採木、仮設集積物、震災後に発生した放射性固体廃棄物(焼却灰)は2019年8月30日現在、水処理二次廃棄物は2019年10月3日現在の保管量及び保管容量である。尚、瓦礫類、使用済保護衣等及び伐採木の下段に括弧書きで記載している保管容量は、実施計画(2019年1月28日認可)に記載している保管容量である。

※2 屋外集積及びシート養生の瓦礫類、使用済保護衣等、並びに屋外集積の伐採木は、3ヶ月に1回。

※3 6月～9月は、1週間に3回。

※4 現在2号廃棄物処理建屋に仮保管中。

※5 2019年3月末時点の保管量。内訳は、制御棒：1,167本、チャンネルボックス：9,818本、ヒューエルサポート：3本、中性子検出器：1,137本、その他(シュラウド切断片等)：193m³。

※6 2019年3月末時点の保管量。内訳は、イオン交換樹脂：2,384m³、造粒固化体：1,148m³。

※7 2019年3月末時点の保管量。内訳は、制御棒：281本、チャンネルボックス：10,539本、ポイズンカーテン：173本、ヒューエルサポート：54本、中性子検出器：375本。

※8 廃棄物の処理・処分に必要となる、廃棄物の性状把握のため、汚染水、瓦礫類、伐採木及び立木について、放射能濃度分析を実施しており、今後も継続する。分析した試料の中には、C-14(半減期：約5.7×10³年)、Ni-63(半減期：約1.0×10²年)、Se-79(半減期：約1.1×10⁶年)、Tc-99(半減期：約2.1×10⁵年)、I-129(半減期：約1.6×10⁷年)等が検出されているものがある。

※9 1～4号機廃棄物処理建屋等の水没や高線量の理由によりアクセスできないタンクについてはこの限りではない。

※10 アンダーラインの実施内容は、実施計画(2019年1月28日認可)に未記載。

※11 仮設集積しているのは、伐採木、土壌、水処理二次廃棄物等であり、DA-54・1F-R9-001 瓦礫等管理要領に基づき、ロープや柵等の区画を行い、立ち入りを制限する標識を掲示する措置を講じている。また、保管量については集積する最大の量である。

※12 []は、前回報告値との差を示している。

※13 端数処理により、合計値が合わないことがある。

ガレキの保管量の現状（2019年8月30日時点）

屋外集積（0.1mSv/h以下）対象エリアの保管量

受入目安表面線量率 (mSv/h)	エリア名称	保管容量 ^{※4} (m ³)	保管量 ^{※1} (m ³)	前回比 ^{※2} (m ³)
≦0.001	AA	36,400	10,300	+300
≦0.005	J	8,000	6,200	0
≦0.01	B	5,300	5,300	微増
	C	31,000	31,000	0
≦0.025	C	31,300	30,900	微減
≦0.028	U	750	700	0
≦0.1	C	1,000	1,000	0
	F2	7,500	6,400	0
	N	10,000	9,600	0
	O	51,400	42,600	微増
	P1	64,050	51,300	+100
	V	6,000	5,000	+200
合計		252,700	200,200	+600

2020年3月末瓦礫類想定発生量 ^{※3} (m ³)	265,100
--	---------

シート養生（1mSv/h以下）対象エリアの保管量

受入目安表面線量率 (mSv/h)	エリア名称	保管容量 ^{※4} (m ³)	保管量 ^{※1} (m ³)	前回比 ^{※2} (m ³)
≦0.5	D	4,500	2,600	0
≦1	E1	16,000	14,200	微増
	P2	9,000	5,600	微増
	W1	23,000	6,700	+100
	W2	6,300	1,600	0
	X	12,200	7,900	0
合計		71,000	38,700	+100

2020年3月末瓦礫類想定発生量 ^{※3} (m ³)	70,100
--	--------

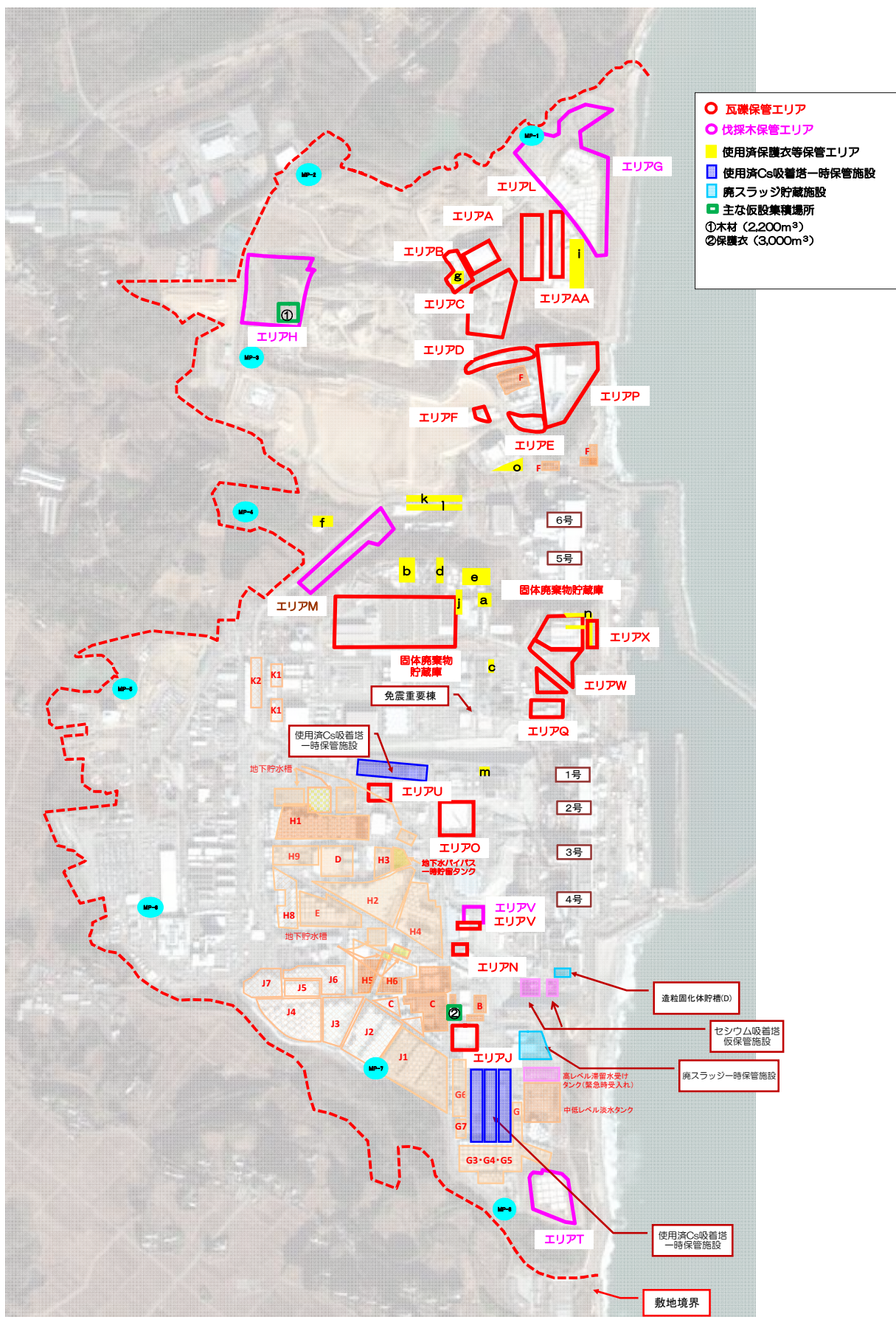
30mSv/h以下対象エリアの保管量

受入目安表面線量率 (mSv/h)	エリア名称	保管容量 ^{※4} (m ³)	保管量 ^{※1} (m ³)	前回比 ^{※2} (m ³)
≦1.8	F1	650	600	0
≦5	Q	6,100	0	0
≦10	E2	1,800	600	0
≦30	A1	2,400	900	微減
	A2	4,700	0	0
	L	16,000	16,000	0
合計		31,700	18,100	微減

2020年3月末瓦礫類想定発生量 ^{※3} (m ³)	26,900
--	--------

※1 端数処理で100m³未満を四捨五入しているため、合計値が合わないことがある
 ※2 100m³未満を端数処理しており、微増・微減とは100m³未満の増減を示す。
 ※3 瓦礫類の保管量（想定）は、実施計画（2019年1月28日認可）の予測値を示す。
 ※4 瓦礫類の保管容量は、運用上の上限を示す。

福島第一原子力発電所 固体廃棄物等保管エリアの構内配置図



G6エリアタンクインサービス時タンク損傷について

2019.10.11

TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社

【書画資料】本資料には東京電力ホールディングス（株）または同社以外のノウハウ等が含まれている可能性がありますので転載はご遠慮願います。また未確定な情報や暫定値などが含まれており、内容が変更される可能性がありますので取扱いにご注意下さい。

事象概要

発生日：2019年10月8日（火）

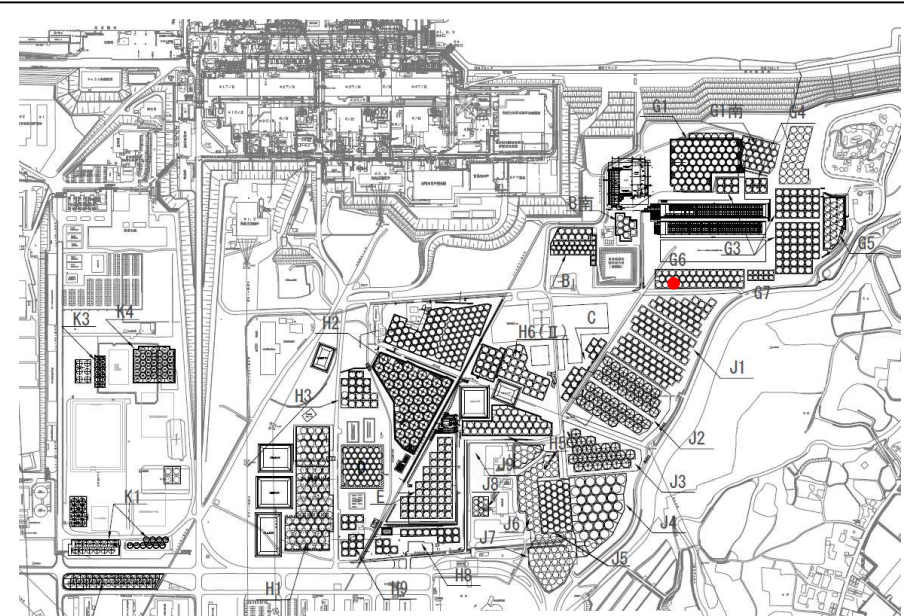
工事件名：1F 1～4号機 G6エリアタンク設置
工事

発生場所：G6タンクエリア西側タンク
（G6-D9タンク）

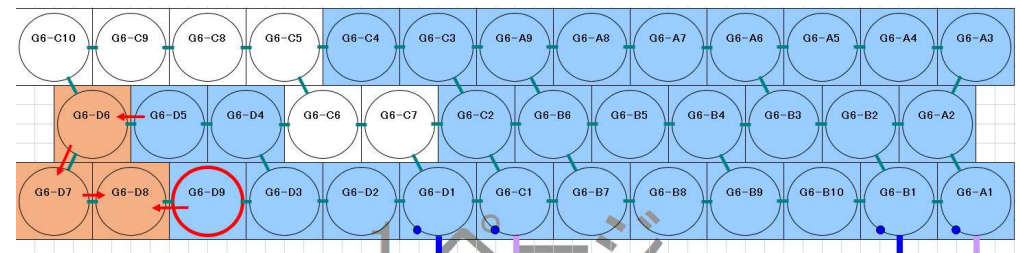
1. 概要

G6エリアタンク3基（G6-D6, D7, D8）のインサービスを実施していたところ、D9タンク上部で異音が確認されたことから、直ちにインサービスを中止した。現場確認の結果、D9タンクの上部天板部変形および穴が3カ所確認された。

なお、タンク天板に損傷が確認されたが、周囲への漏えいは無く、周辺モニタリングポストに変動がないことを確認した。



発生場所位置図



- ：D9（損傷）タンク
- ：インサービスタンク
- ：満水タンク
- ：空タンク

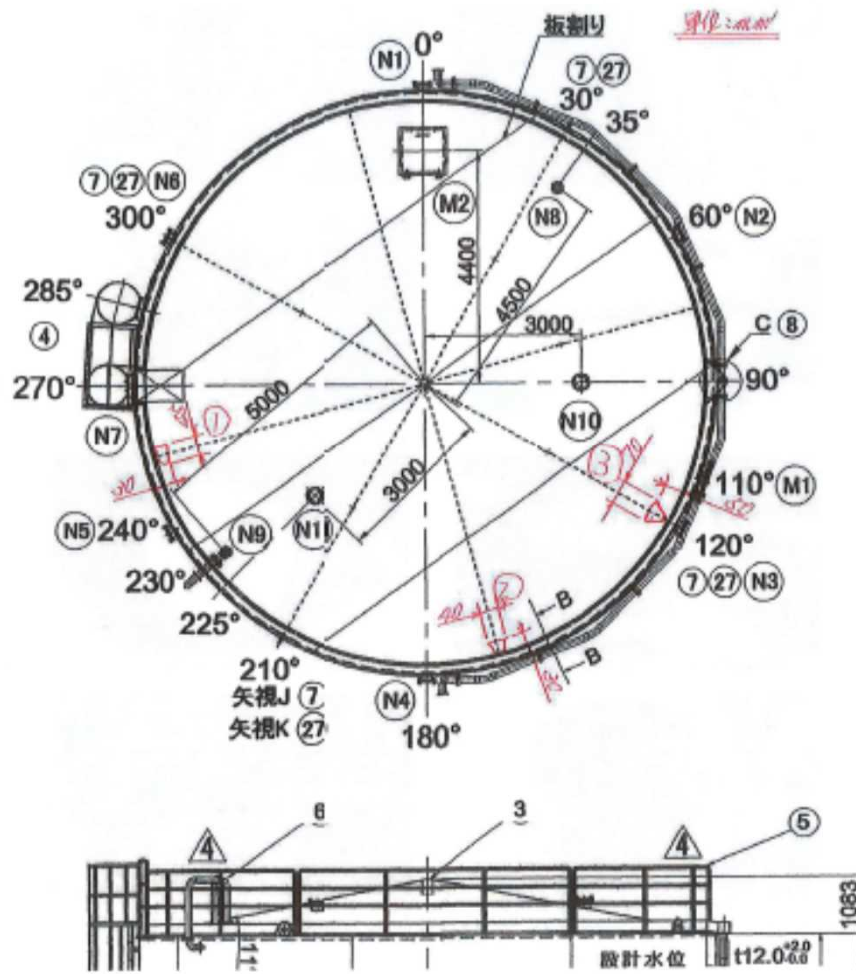
①穴明き (240° 付近)



②穴明き (180° 付近)



天板



③穴明き (120° 付近)

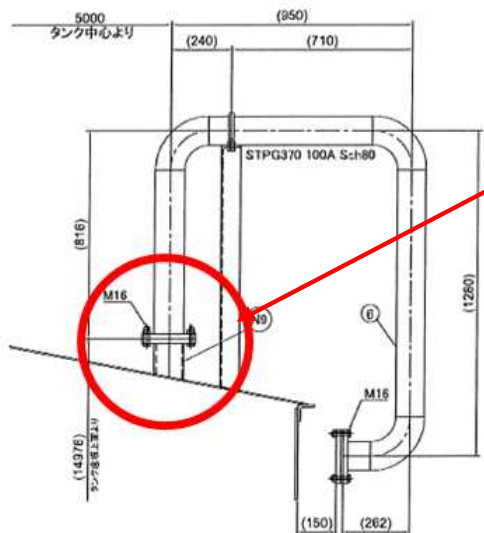


④変形 (代表)





- ベント管フランジ部に養生テープが付いた状態であることを確認
- 養生テープは、ベント管塗装の際にベント管製造工場で取付
- ベント管製造工場から輸送され、本来はタンク製造工場にて養生取外し



養生テープ

3. 応急処置

- 当該タンク周辺を区画し、立入禁止措置を行う。(10/8完了)
- タンク天板に確認された穴について、雨水侵入防止の観点から養生を行う。(10/9完了)
- タンクベント管内部の異物の有無を確認し、無いこと確認し、復旧した。(10/9完了)



①鉄板をダクトテープ養生



②耐候テープ養生



③ビニール養生

4. 評価結果 (机上)

- 解析による評価では、タンク側板に問題は無く、使用継続は可能

5. 今後の対応

- G6エリアタンク全数のベント部について現場調査
- 天板修理方法検討
- タンク健全性確認
- 再発防止策検討

詳細なスケジュールについては、次ページ「今後のスケジュール」参照

今後のスケジュール

内容	10月				11月				12月					1月～
	7	14	21	28	4	11	18	25	2	9	16	23	30	
官庁対応	▼ 10月11日 水処理定例								▼ 規制庁面談 対策によっては検査期間延長申請					1月31日 ▼ G6最終検査
G6タンク 水張り					▼ 10月24日 C群にインサースビス予定									
実施項目（当社）	原因調査	対策検討		10/24～G6-C群にインサースビスできれば 水バランスに影響なし				東芝の妥当性の評価・資料まとめ						
実施項目（東芝）	原因調査	G6-C1～10ベント部調査		G6全タンクベント部調査				～10/25（厳守）東芝殿より報告 G6-D9の今後について（再利用・修理・リプレース等）健全性・妥当性の確認など						
					G6-D9 東芝報告の現場妥当性の確認									
					G6-D9⇒D3orD4orD5orD8 水移送（開始日は調整中 可及的速やかに）									